



1年延期された東京オリンピックが開催されています。コロナ禍の中、無観客試合ですが、テレビ観戦を通して、日本人選手のメダル獲得に感動し、また、惜しくもメダルを逃した選手の悔し涙に胸を熱くする人も多いと思います。

さて、試合終了後のインタビューで「オリンピックを開催していただき、ありがとうございました」と答えるメダリストが多いことに気付かされる毎日です。外国人選手が日本の酷暑に苦しんでいるようですが、日本人選手の活躍はもとより、世界中から集ったアスリートたちのすばらしい活躍に熱い声援を送りましょう。

さて、夏休みは読書に最適な時期です。長編小説など読んでみませんか。夏休みの課題で読書感想文がありますが、終わりましたか。今年の夏は、皆さんかすばらしい本との出会いがあることを切に願っています。

☆☆☆☆☆ **先生からのオススメ本を紹介します** ☆☆☆☆☆

## 地歴公民科

## 宮河 邦英先生からのオススメ本

### 「戦艦大和の台所―海軍食グルメ・アラカルト」

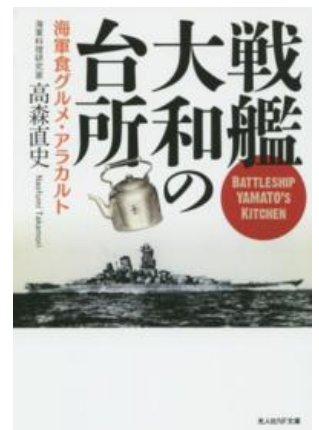
光人社 NF 文庫 高森直史 著

あらためて自分の読んできた本たちを振り返ると、あまり意味のある本は読んでこなかったなあため息が出ました。そんな中ですが、少し印象に残っていた本を紹介します。

皆さん、戦艦「大和」はご存じでしょうか。日本海軍が建造した世界最大の戦艦ですが、今から76年前、東シナ海に沈められています。全長263メートルのこの巨大な船の上で、3000人の若者が戦い、命を落としているわけです…。

しかし、そんな悲壮な船の上にも「生活」がありました。大和だけで3000人以上もの兵士の胃袋を支えた海軍伝統の食事は、明治以来の研究の賜です。勇ましくもはかなく、血なまぐさい戦闘の歴史は置いておいて、兵士の生活や、しゃもじを手に巨大な蒸気釜に立ち向かった主計兵（料理番）の活躍に注目してみませんか。

普段の学習にも、そういう視点が必要かもしれません。



## 第 67 回 青少年読書感想文全国コンクール課題図書を紹介します

(各書籍とも 1 冊ずつ購入済みです)



「水を縫う」  
寺地はるな 著  
集英社

主人公の松岡清澄は高校 1 年生。1 歳の頃に父と母が離婚し、祖母と、市役所勤めの母と、結婚を控えた姉の水青との 4 人暮らしである。学校で手芸好きをからかわれ、周囲から浮いている清澄は、かわいいものや華やかな場が苦手な姉のため、ウェディングドレスを手作りすると宣言するが——「みなも」「愛の泉」ほか全 6 章。世の中の「普通」を踏み越えていく、清々しい家族小説です。

第 9 回河合隼雄物語賞受賞作品です。



「兄の名はジェシカ」  
ジョン・ボイン 著  
原田勝 訳  
あすなろ書房

主人公サムの兄・ジェイソンは、高校ではサッカー部のキャプテンで、尊敬する兄である。ある日、兄が自分は女として生きたいと葛藤する悩みを告白する。しかし、女性政治家として多忙な母と秘書である父は、性的マイノリティに対する差別や偏見を恐れ、兄を受け入れようとしめない。学校でいじめられるのではと心配するサム。

このまま家族はバラバラになってしまうのか。自分らしく生きるとは、どういうことなのか。イギリスの学校・家庭を舞台に、ジェンダーの問題を提起した作品です。



「科学者になりたい君へ」  
佐藤勝彦 著  
河出書房新社

「どうすれば科学者になれるのか？」研究生活、論文、ノーベル賞、科学の面白さなどが紹介されています。……日本の科学研究を牽引した著者が実例を交えて案内する。科学を見る目がガラッと変わる、全ての人に必読の書です。



第67回 青少年読書感想文全国コンクール

(夏季休暇中の図書館開館について)

登校日及び夏季セミナー実施日は開館します。是非とも図書館に本を借りに来て下さい。